

日本医業経営コンサルタント協会第241回東京都支部理事会議事録

日時 令和5年11月17日(金)6時30分～7時40分  
会場 ハートンホテル京都 1階ホール会議室  
出席者 支部長 眞鍋一 (順不同・敬称略)  
副支部長 薄井照人 今村顕  
理事 外山和也 横田克彦 永瀬隆之 森田仁計  
吉崎隆 脇千香子  
監事 小野瀬由一 竹本君江 11名  
欠席者 理事 佐藤由巳子 1名

審議事項

1. 支部役員の選出方法について  
支部長より、11月1日(水)に臨時総会が開催され、審議の結果、次期支部役員を支部役員選考委員会により選出することとなったことが報告された。
2. 選考委員会について  
支部長より、支部役員の選考にあたり、理事会の議を経て、支部役員選挙管理委員又は支部役員選考委員の委嘱が必要であったため、日程の都合上、予め書面審議による候補者の選出を行った旨が報告された。11月1日(水)の臨時総会により、次期支部役員の選出方法は支部役員選考委員会による選出となったため、書面審議結果を踏まえ、青地記代子氏、須田稔氏、手塚浩通氏、原子修司氏、三好章樹氏の5名に支部役員選考委員を委嘱することが説明され、承認された。なお、委員長及び副委員長は委員の互選により選出されることが付け加えられた。
3. 寄付金の集め方・方法について  
支部長より、協会の寄付金の募集について、より広く募るための集め方・方法について意見を求めたい旨が述べられた。まずは各役員の身近なところから呼びかけることとするほか、引き続き、集め方や方法について審議することとした。
4. 1月開催の支部運営委員会、支部理事会の日程変更について  
支部長より、1月9日(火)支部運営委員会、1月15日(月)支部理事会を予定していることについて、本部理事会日程を鑑み、1月15日(月)支部運営委員会、1月22日(月)支部理事会としたい旨が説明され、承認された。
5. その他  
支部長より、支部の業務で使用する銀行口座について、手数料の値上げに伴い、口座を変更したい旨が説明され、承認された。

報告事項

1. 京都学会の状況について  
支部長より、京都学会における役員の出欠及び宿泊等手配状況について報告があった。
2. 支部研修会の結果について  
企画副委員長より、11月1日(水)に開催された支部研修会の結果について中間報告があった。引き続き、録画配信が行われることから、JAHMC12月号に報告記事を掲載する等、情報の拡散を継続して行うほか、追って、最終報告を行うことが述べられた。今回の研修会は他支部と共催であったため費用を按分したが、支部として、予め按分に関するルールを定めておいた方がよいのではとの意見が挙げられた。
3. 令和4年度、5年度新入会員交流会結果について  
会員支援委員長より、10月30日(月)開催の新入会員交流会の結果について報告があった。参加者からの意見を受け、今後とも交流会を開催するとともに、集め方を工夫する旨が述べられた。

4. 支部各種委員会報告

1) 広報戦略委員会

次の事項について協議した内容が報告された。①広報戦略委員会の役割について、②企画委員会からの企画案、③会員のリサーチについて、④全体的なスケジュール等。企画委員会からの企画案について、支部理事会の合意が得られれば協同して企画案を実施していくことが説明された。説明を受け、ターゲットについて戦略的に検討して欲しい旨の意見が挙げられた。

2) 企画委員会

11月1日の研修会を終え、研修会のレビューを行うとともに、次回に向けての改善点等について協議したことが報告された。

3) 総務委員会

総務委員会での経過について報告があり、前回理事会及び臨時支部総会の議事録作成のほか、支部運営委員会の開催にあたり、予め議題及び資料の確認等を行ったことが報告された。

4) 財務委員会

次期予算編成を踏まえ、半期の予算執行状況について確認を行う予定であることが述べられた。

竹本監事より次の意見が述べられた

会員支援委員会の交流会の結果を受け、現場のリアルな声が聞けた。教を集めるのではなく、小さなところから会員増員につなげられる方策のために、各委員会が高めあっていけるような段階に入ったと思われ、本日の会議はその第一歩となったように感じた。

小野瀬監事より次の意見が述べられた

会員増強についていろいろと検討されているところであるが、全国の各支部とも共通の悩みを持っているところと思われる。学会において、各自、他の支部と互いに悩みの共有や知恵を検討しあうことで、学会の機会を活用していただければと感じた。

以上

議事録署名人	議事録署名人
11月28日	11月27日
	